

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月24日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 各務原高等学校会議室  
開催にあたり、委員による「総合的な探究の時間」の生徒発表の参観を実施
- 4 参加者
 

会 長	長倉 守	岐阜大学大学院教育学研究科教授
副 会 長	水谷 秀彦	各務原市立中央中学校校長
委 員	小川 陽子	新生こどもえん園長
	竹内 幹	みきTFP事務所
	今井 由起	本校PTA会計
	古田 希雄	各務原市まちづくり推進課課長(書面参加)
学 校 側	野々山伸一	校長
	高橋美穂子	教頭
	山口 敦	教頭
	高木 美希	事務長
	橋本 純	生徒指導主事
	水野 里美	進路指導主事
	武藤 俊平	研修主事

## 5 会議の概要(協議事項)

## (1) 「総合的な探究の時間」の生徒発表について

意見1: どのような力が身に付いたかを振り返ることが重要である。自分自身の変容に気付かせる指導が大切である。活動は手段であり、活動紹介が目的にならないようにする必要がある。発表では、最後に「この活動を通して身に付いた力」を明確に示して締めくくるとよい。

意見2: 協働性の育成に加え、その活動の中で「何を得たか」を伝える力の育成が重要である。外部講師のプレゼンテーションに触れる機会は、生徒の表現力向上につながる可能性がある。

意見3: 地域(蘇原)のブランディング等について、高校生が関わることで解決できる課題も多いのではないかと。地域とのつながりを意識した探究活動の充実に期待。

## (2) 令和8年度度「教育指導の重点及び学校経営計画」「方針と重点」について

意見1: 生徒の表情が落ち着いており、穏やかな雰囲気が見られる。生徒と教師の距離感が適切であり、それが学校の落ち着きにつながっている。先生方の尽力の蓄積により、良い学校運営がなされている。

意見 2 : 学校長の経営方針が教職員・生徒に浸透している。教職員間の横のつながりや一体感がある。

意見 3 : 学校運営協議会は、委員が学校運営や支援に参画する組織である。外部と連携し、支援できる点があれば積極的に協力したい。学校側からテーマを提示し、それについて意見を求める形での議論も有効である。

意見 4 : 説明や資料が年々シンプルで端的になっている点がよい。

意見 5 : 基礎学力の定着は重要であり、教務部と進路指導部の連携した取組は継続してほしい。また、主体性を育てるためには、授業における具体的な課題設定が重要である。

意見 6 : タブレットの使用によって一斉指導を減らし、共通理解を図った上で協働的に学ぶ時間を設けてもよい。

意見 7 : 挨拶運動に参加したが、生徒の挨拶がとてもよい。遅刻ぎりぎりに登校する生徒も見られるため、交通マナーの観点からも余裕をもった登校が望ましい。

意見 8 : 規範意識について、「自ら律する」という言葉を校内で浸透させるとよい。

意見 9 : 自分の「すき」を見つけることが重要である。大学入試も変化しており、自分のやりたいことをアピールする方向に移行している。進路指導にも「すき」という視点を取り入れるとよい。

意見 10 : インターンシップを多様職種に広げることで、将来の選択につながる経験になる。

意見 11 : PTA活動にオンラインを活用することは有効である。

## 6 まとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・本校に寄せる期待や要望、様々な観点からの意見を聴くことができる貴重な機会となった。今後の学校経営に生かしていきたい。